

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第353回

映画：ハリーポッターシリーズ

『ダンブルドア』の名言

発行：入試広報室

発行日：令和5年4月17日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

It takes a great deal of courage
to stand up to your enemies,
but a great deal more to stand
up to your friends.

敵に立ち向かうことはとても勇気のいることだが、
仲間に立ち向かうことはもっと勇気がいるのじゃ。

『ハリー・ポッター』は、イギリスの作家J・K・ローリングによって著された7巻のファンタジー小説シリーズである。

Column

今回の『仲間に立ち向かう』という言葉は私は『仲間と向き合う』という風に捉えました。仲間とは、なんでも言い合ったり自分の弱い部分もさらけ出せたりと、家族同様に感じるような“自分の味方”という存在だと思いますが、大切なら大切なほど“過保護”になりがちでもあります。みなさんは仲間に対して厳しさを持って指摘しなければいけないと感じた瞬間にすぐ実行に移すことができますか？私は『自分の言葉で仲間を傷つけてしまうかもしれない…』と躊躇してしまうことが多いのが正直なところです。また、指摘というものは時間が経ってから伝えるのは本人の記憶が曖昧になることや『これまでずっと怒らせていたんだ…』と相手を余計に傷つけることになってしまう恐れがあります。ですから傷つけずに伝えるために言葉を選ぼうと考えているうちに時間が経ち、結局言えずじまいということも過去に何度かありました。

これまで述べてきた心理状態について仲間に話すと『わかるよ！』と同意してくれることが多い中で『仲間のために思って勇気を出したことによって自分が嫌われるのが一番嫌だ』という不安な気持ちもよくわかるのですが、実は今回の言葉に出会った時にそのことを真っ先に思い出しました。“仲間に立ち向かう”ということは“自分に立ち向かう”ということにもなるのです。たとえ自分が傷ついたり仲間を失うことになったとしても、大切な仲間が幸せであってほしいという気持ち（勇気）を持つことと、その気持ちを理解することが重要なのです。『自分のための仲間』『仲間のための自分』これは同等であるべきです！